

# 大変助かっていきます。

発行：附属教育実践総合センター  
No.3 2009年 7月13日

◇今回は、6月25日に明生学園、7月2日に舞鶴小学校を訪問させていただきました。学生の皆さんが児童や生徒のために一生懸命取り組んでいました。

## 受け入れ先の先生方からのメッセージです

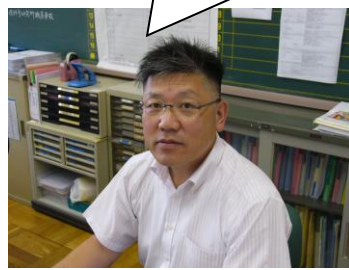
明生学園 松野友香 様

大勢の学生さんの御協力をいただき、教育ボランティアを受けられる子供が増えました。それぞれが活動を楽しみにしています。本当にありがとうございます。児童養護施設という場所、そこで生活している子供たちの様子を知っていただけるだけでも意味のあることだと思っています。いろんなタイプの子供たちがいるので、それぞれ難しく感じることも異なると思います。子供たちのことを共通の話題として、学生さんたちと明生学園職員とで協力して活動を進めていきたいと考えております。今後とも、よろしくお願いいたします。

舞鶴小学校 小林 泉 先生

積極的に子どもと関わろうとする学生が多く、大変助かっていきます。理解に時間のかかる子どもに寄り添いながら、ていねいに指導していただいています。授業後が終わった後、休み時間に子どもと一緒に遊んでいってくれる学生もいます。

学生の来校を心待ちにしている子どもが多くいます。わかりやすく教えてくれたり、遊んでくれたりするので、子どもたちも喜んでいきます。本校では、この制度を大変ありがたいと感じています。ぜひ、一年間続けていただけるよう希望します。



【英語教育 3年 梶原ナツミさん】 勉強の面だけでなく必要な存在になれたことがとても嬉しい。…子どもにパワーをもらうことができ、本当に自分も成長でき、相手も成長できる良い経験になっています。

## 今、教育ボランティアで頑張っている皆さんの声です

【数理情報 3年 藤原希兄さん】 毎回1つは何かを学んで帰ってこられるように、自ら積極的に活動して、現場に参加させてもらうようにしています。

【社会科教育 3年 中山可奈さん】 自分が教育実習でしたところと同じ範囲の先生の授業を見ることができ、とても勉強になりました。教師になりたいという思いをずっともって活動できるようにしていきたいです。

【美術教育 4年 井上和人さん】 子どもたちなりの意見や考え方、つまづきなどたくさんを子どもたちから教えてもらえるよう、多く関わっていききたいです。

【社会科教育 4年 福澤善文さん】 多くの学級を見せていただき、自分の教育観を固められます。どうしたら子どもが「分かる」のか、深めていきたいと思っています。

